



行合水産
立三谷
愛知縣同窓
高 校 会

長年の夢「みおすじ」第一号発行!!



同窓会長 竹内 四男次

同窓生の皆さんには益々ご健勝にて各方面にご活躍のことと存じお喜び申し上げます。今度、本校創立五十周年の区切りでもあり、長年の希望

と夢であった同窓会会報が発刊されることになり、誠に嬉しく喜びにたえません。会報のタイトルも、母校校歌内にある漕筋と決め第一報を発行



旧2回 竹内 迪氏撮影

する運びとなりました。思えば創立三十周年、四十周年そして一昨年は特に盛大に五十周年記念行事が挙行され、同窓生諸氏の格別なるご支援を賜

り、また校長先生、諸先生並びにPTAの皆さまの献身的努力により記念行事の一環である道しるべとしての燈台も校門横に出来上りまた備品としてテント等の寄贈もでき、母校のため少しでも充実を計ることができ、当初の目的を達成することができ感謝にたえません。

すでにご承知のことと思いますが、悲しくも高平校長先生の突然の訃報に接し、人生無常を痛感し呆然とした次第です。

偉大な校長先生に対し、改めて皆様方と共にご冥福をお祈り申し上げます。

最後に、この会報が毎年の如く発行されますよう祈ると共に、会報一読で夢多き学生時代にもどり、血潮たぎり母校発展のご努力をお願いし、これからもたゆまざるご支援をお願い申し上げます。



学校長 石丸 昭和

同窓会の皆様、ご機嫌いかがですか。伝統と歴史を持つ本校に学んだ多感な青春の三年間は、今も胸中に深く刻まれていることでしょう。現在の俺と三谷水高との関係はどういうものだろうか。母校の様子は、皆様にとつて関心をそえられる存在と思います。ここに念願の会報「みおすじ」



前校長 長崎 孜

「光陰矢の如し」二十六年間お世話になった学校を退職し、千葉県に転居しました。四月からは専攻科漁業科授業を担当し、また水産庁の漁船員資質向上等研修事業に参加を依頼され、益々発展するよう努力勉強する覚悟です。九十年代は社会情勢が大きく変わり、教育界

の創刊、同慶至極に存じます。さて、冒頭に歴史の三谷水高と言いましたが、本校は、県立高校百五十校（全日制）中五十番目に創立された古い学校で、卒業生の数七千名を擁します。親父・息子についてその三世の入学を待つ程の年輪を重ねました。

三谷水高が、新しい時代に向かつて、さらに発展するよう今後とも皆様の一層のご支援をお願いいたします。

も学級減問題・週休二日制と変化し、本校も、時代の進展に対応した学科の改編・統合・改名等、学校の将来展望を考へるべき重要な難しい試練の時機にきていると思ひます。学校の未来像は、社会情勢、生徒の実態、保護者の考へ、地域社会の要望、水産業界の動向等をよく見極めて改革を進める必要があります。どうか母校発展のために、同窓会の皆様のご支援とご協力をお願いする次第です。